

私とロータリー

寄稿

私たちのクラブは、創立当初から社会奉仕活動に力を入れてきました。

まずは、一宮島村という所にある「島文楽保存会」への活動支援です。

この文楽は、慶応3年（1867年）に、他の部村からお金（金7両）で譲り受けたものであり、今は尾張地区に唯一の人の形芝居として守られてい

一宮中央ロータリークラブ
社会奉仕委員長

倉地 伸幸



ます。

この伝統文化を守り育

てていくには、「文楽人

形」の維持に多額の資金

が必要であり、また、後

継者問題もあります。保

存会には小・中学生も参

加していますが、高学年

模索が出来るかと期待を

にするとやめていく人が

多く、存続が大変難しい

時代となっています。

私たちが取り組ん

でいすが、高齢者の

交通モニター会」と協力

し、高齢者の交通事故死

を一件でも減少させる運

動を実施しています。

最終的には、高齢ドラ

的に運転免

許証を返納

してくださ

る運動に発

RCCに文化伝承を期待

展させていきたいと思っ

ロータリーの地区RC

Cに入会することに

特に去年は、当一宮市が

より、他の伝統文化

を維持している人

たちと交流を図り、

次世代に伝承する

知県内に広めて行きたい

は近年続いています。一宮市が

この運動を、ロータリ

この運動を通じて愛

知県内に広めて行きたい

そこで、私たちのクラ